View metadata, citation and similar papers at core.ac.uk
brought to you by CORE

《新収資料紹介》
井手家旧蔵資料

寄贈された明治期の法律学・経済学の講義筆記をはじめとする資料群。明治24年に理財科を卒業した井手徳一氏の旧蔵資料。

専修學校

講義筆記代價幾別割引之証

明治二十年一月廿日 第九三号

學科	法經 號數	第二年級講義筆記	第一學年 律學	第一學年 法學
		五〇	四〇	三〇	二〇	一〇	〇
		經 法	經 法	經 法	經 法	經 法	經 法
一							
二							
三							
四							
五							
六							
七							
八							
九							
一〇							

井手徳一

井手家に残された講義筆記の領収書（井手修氏提供）。

井手徳一（井手修氏提供）。

井手家旧蔵資料について

明治元年（1868）８月、現在の佐賀県有田町に生まれ、明治24年に専修学校理財科を卒業した井手徳一（後に陶男と改名）氏が使用していた教科書類が、昨年７月に、徳一氏の令孫・井手修氏より専修大学に寄贈された。

今回、全94点もの教科書類を寄贈いただいたが、その多くは、明治20年７月に発行された『専修学校経済学講義筆記　第一年級第廿七号』をはじめとした、明治20年代に専修学校が発行したものである。講義筆記とは、専修学校が明治20年１月に始めた校外生制度（今で言う通信教育制度）で使用されていたテキストである。さらには、徳一氏の自筆の講義ノートも残されており、在学生である徳一氏がなぜ講義筆記を所有していたのかを含め、明治期の専修学校の教育の実態、そして学生の学習成果を知ることのできる貴重な資料群と言える。

残念ながら徳一氏は、明治24年11月、24歳という若さで夭逝した。写真は修氏から提供いただいたもので、裏には明治24年７月とあり、亡くなる４ヶ月前に専修学校卒業を記念して撮影したものと思われる。